

日本共産党
京都市会議員

平井良人 住み続けられる中京区を

発行/2023年3月19日 第357号 連絡先/日本共産党中京地区委員会 TEL801-2591



予算委員会で水道「広域化」不参加を求めました

上下水道局は経営の観点のみの運営を改めるべき

予算特別委員会の分科会での議論が行われ、各局に対して、質問を行いました。

現在、国が水道や下水道の「広域化」を進めており、今年度中にすべての都道府県で、水道・下水道ともに「広域化計画」の策定を迫られており、京都府も国の誘導に乗る形で広域化計画をこれまでの計画と合わせた「京都市水道グランドデザイン改定」「京都府水環境構想」という名前で付け足す形で、広域化を進めようとしています。

委員会では、上下水道局の初日質問に「民間委託」、2日目に「広域化」について「質問。現在、窓口業務の一元化と合わせた民間委託、滞納整理についても民間委託を進めようとしています。民間委託化が例えば、滞納整理業務ひとつとっても、これまでは、料金を払えない市民の方々に対して、他の福祉制度が使えるように、上下水道局が実態を掴み、保健福祉局と連携を行い、経済的に厳しい市民をある程度支援してきました。民間委託化によって、その連携がどこまで保証されるのかは明らかではありません。

軌を一にして、京都府の水道・下水道メニューには、この窓口業務の一元化と滞納整理についても広域化の対象事業となっており、その手法は、「共同選定」を行い、委託化を京都府の各圏域で進めるとしており、大きな民間委託化を進めることを京都府と一緒に進め、京都市が行うこととなります。保健所の統合がコロナで機能不全に陥ったことを考えれば、この水道・下水道の広域的民間委託は、市民を遠ざけるものとなり、滞納整理は、合理化と効率化でまったく、経済的に厳しい人を救えるものにはならないのではないかと危惧を覚えます。

すでに、国が強引に進める「広域化」に対し、広島県では広島市、呉市、福山市、尾道市など主要な都市が広域化不参加を表明しており、その人口は、県の76%に当たります。広島市は広域化不参加の理由として「将来的に県単一料金になった場合、受益者である市民の負担増による影響を懸念する」とされています。自治体や市民の関与が弱くなること、水道における自己水源の喪失、自治体の独自性をなくし、国の負担を軽減する手法だと言わざるを得ません。水道法2条には、国の責任で一定の措置を行うことが書かれています。国が法律に則り、財政敵に厳しい市町村を支援すべきであり、広域計画に不参加を表明すべきです。

2月・3月のトピックス



2/19 福祉労働組合の保育士補助金のカットに抗議する街頭宣伝へ激励に伺いました。



3/12 田中ふじこ事務所開きに参加。決意を述べました。

油小路通の道の凹凸の改善

2月補正予算で、生活道路の中でもごく小規模な補修から少し幅を広げた道路補修も行うとされてきた。これまで日本共産党京都市会議員団で求めてきた考え方が少し反映されました。年始のあいさつまわりの中で、油小路通りの道路が非常に陥没しており、いるところ、ひび割れが起きているところなど老朽化が通り全体に広がっていました。「以前京都市に求めたが、ごく小規模な修繕に留まっていた、結局また道路の老朽化が進んでいる。改善してほしい」との要望があり、西部土木事務所に要望を伝えていました。今回の改善は、道路全体の半分以上に及ぶ工事となっており、少し規模が大きくなりました。これまで、まちづくり委員会でも壬生川高辻通の改善を求めています。引き続きこの予算を活用して改善を求めたいと思います。引き続き、ご要望お寄せください。

